"WITH AXIS AND DESIGN"

AXIS: September 2021, P106 - P107



# 私とAXIS、With AXIS and Design私とデザイン

## デザインは人の心を動かす、 美しい力 ダーン・ローズガールデ

「より良い世界のために未来 の風景をつくる」。これは、私が 「AXIS」に初めて掲載されたさ きの記事メイトルです。そのタイト ル通り、より良い和来を提示でき なければ、より良い創造なんて起 こりません。だからこそ、地球や 人々にとってクリーンな空気や水、 空間を与たるランドスケーブをつく り出そうと活動してきました。 環境汚染や気候変動によって、 人々のライフスタイルは急激な変 化を余儀なくされています。しかし、 いくにケータを用いてその深刻さ を訴えて、恐怖心を煽るだけで、 新しい行動を起こすことにはつな がりません。デザインには人の心

新しい行動を起こすことにはつな がりません。デザインには人の心 を動かす美しい力があります。市 民から政治家までが同じ体験を 重ねることで、感情を共有するこ とができる。ひいてはそれが人々 や社会に変化を生み出す原動力 になると信じています。 欧州では、新しい年を迎えるイ ペントとして各地で花火大会が開 いわます。そこで御田おんる大量

っれます。そこで使用される大量 )火薬は、大気汚染とともに大量 ハネロ、スペロネとこから、 のごえを生み出し、地球温暖化に も影響を与えます。私は自然界の 発光生物によって新年を祝う、生 物学上の花火を用いたイベントを 今年末に実施予定です。

することに取り組んで以来、宇宙 を通じて地球や身近な環境につ いて考えるようになりました。今 の夢は、大きな気球で人々を大気 闇まで運れて行き、皆で一緒に 地球を眺めることです。最近は宇 宙旅行のニュースばかりですが、 逆に宇宙から地球を見るほうが、 人々は環境問題により真剣になれ るのではないかと思います。この プロジェクトは実現まで時間がか かるけれど、10月には夜の11時以 降は皆で消灯し星を見ようという 金画を進めています。暗さに慣れ 企画を進めています。暗さに慣れ ると人の目は冴えていきます。星 の美しさを改めて知ることで夜の 過ごし方は確実に変わっていくこ

「好き勝手に生活を楽しんでき た年配の人たちと比べて、自分た まで払わされている」といった将 来を悲観する学生の声を聞くこと があります。私が世の中の注目を 

### Design moves people, that's the power of beauty Daan Roosegaarde

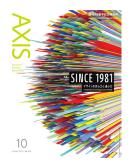
<text><text><text><text><text><text>

ダーン・ロースガールデ、1979年オランダ生まれ、ロッテルダムのベルラージ・インスティ テュート、現テルフト工具大学建築学部)で建築と都市計画を学んだ後、MVRDVの下で 経験を積み、レム・コールハースといくつかのプロシェクトで協築する。オランダデザイン アワート、ロンドンデザインノバーションメダルなど愛賞を数、未詰約登場は2018年 1月発売の191号。

11 Albergo 1919. Dan Rocegoarde was born in the Netherlands in 1979. After studying architectur and urban planning at the Berlage institute (present Department of Architectur Delft University of Technology) in Rotterdam, he accumulated experience unde WRDV and collaborated with Rem Rochitas on a number of projects Roosegaard has received numerous awards including the Dutch Design Awards His first appea ance in AXS magazine was insize vol 1911 no 2018.

### "WITH AXIS AND DESIGN"

AXIS: September 2021, P106 - P107



### Looking at history to inform us of the future Neri & Hu

— Walter Benjamin, A Berlin Chronicle (1932)
This quote by Walter Benjamin, A Berlin Chronicle (1932)
This quote by Walter Benjamin captures our observation with reflective nostalgia. Many of our projects are spontuced to engage with the premise that nostalgia, rather than being regressive, offers a productive memory, displacement and the premise that nostalgia rather than being regressive, offers a productive memory, displacement and the nostalgia advelled so the ambivalences of human forging and belonging and does not shy away from the optimal belonging and belonging and belonging and belonging and belonging and professor resonates with the nostalgia advelled so the ambivalences of human forging and belonging and professor resonates with the networking a characterize with a segment below on the engages at unultions of modernity. As a genre, this definition with renovation and projects.
The more than historial relics and the role of representation in the dialectics between past and present.
The surgical nature of our projects also speak to an arrive with the dialectics between an imagined past and point to create a dialogue between an imagined past and professor resonates and professor sequent moment, sudditions. Utimately, our and biols more the additions. Utimately, our and biols more speak to enarge addition of free additions. Utimately, our and biols more than a diations. Utimately, our and biols more than a diations. Utimately, our any specific past and professor speak to an arrive to create a dialogue between an imagined past and professor and past of the restore an imagined past and professor and past of the restore and past of free with the distance of the that the increasion and past of the past or freeze its history, but professor as much as additions. Utimately, our and be present moment, such additions. Utimately, our additions of the past or freeze its history, and the prosent moment, such additions. Utimately, our additions. Utimately, our additions. Utimately, ou

cess gives new meaning and possibilities for the future. ネリ&フー 上海とロンドンを観点として国際的に多様なデザイ ン活動を実践しているネリ&フー デザイン・アンド リウーチオ フイスの片間違され、ウラシンドクリンッ、ハンセンなと 数数 くの世界的クライアントにデザインを提供するほか、確葉や空間 デザインの分野ではリハー・ションプロジェクトも多く手がける。 本誌 2016年 6月で 素純を勤務。 Nerl and Hu are cofounders of the Nerl&Hu Design and Research Office that conducts diverse design activity interna-tionally from its bases in Shanphai and London. In addition to doing design for many global clients such as ClassiCon and Fitz Hansen, they are also involved in renovation projects in the fields of architecture and space design. Graced the cover of AXIS magazine in June, 2016.

# 歴史を見つめる 未来を知るために

ネリ&フー

記憶は過ぎ去ったことを探知するための道具などではなく、むしろ 媒質であるということを、言語は誤解の余地なく教えてくれている 生地が古の町々が埋ちれている媒質であるのと同じように、記憶は 体験されたことの媒質なのである。埋られている自分の過去に近づ こうとする者は、発掘する男のように振舞わればならない。 -----ヴァルター・ペンヤミン「ペルリン年代記」

ペンヤミンのこの言葉は、舞急というものに対する私たちの執着をうま (捉えている。
 スウェトラーナ・ボイムはこの舞怒の概念――ノスダルジアを「復興的」 と 反射的(反省的)」とに分類した。復興的ノスタルジアが「失った 故郷を歴史を超えて再構築する」のだとすれば、後者はあくまで痛みや 変大、憧れの感覚の内に留まり、「憧れと帰属のアンビバレンスの中に宿 と) うのだ。
 リハーションや建築プレジェクトにとって、ノスタルジアとは遺産 体集合的記憶として、あるいは移築や都市再生の課題に取り組むための 生産的な意味を持っているからだ。それは決して時代の後戻りではない。
 私たちの完権の目的は過去のイメージを復元したり、歴史を東緒して 遺すことではなく、過去と現在の間に対話を生み出すことだ。だとすれ ば、デモチーとして重要なことは、古きるのと初にきめのとのコントラスト、 生のちまであるのと洗練されたものとの間で微妙たパランスをとるとと たろう。

プローチだったとも言えるからしれない。 そのようにして過去と現在が共存する場所。まったく新しい、主観的な 歴史の読み解き方が生まれるのはそんな場所の仕ずだ。そしてそのプロ セスこそ、未来に新たな意味と可能性を与えるのだと思う。